

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和5年度）

施設名	①北千里児童センター ②北千里地区公民館 ③北千里図書館	所管部室課名	①児童部子育て政策室 ②地域教育部まなびの支援課 ③地域教育部中央図書館
所在地	吹田市古江台3丁目8番1号	設置年月日	令和4年11月22日

1 施設の概要

(1)設置目的	一つの建物に機能を集約・融合することで、様々な年代の人々が交流し、地域でつながることのできる、今後の千里ニュータウン再生のひとつのモデルとして、複合的なコミュニティ醸成機能を備えた施設を実現し、リビングが家族の結びつきを育む場であるように、気軽に訪れ、ふれあい、ともに心を育む、あらゆる世代に開かれた、みんなでつくるハートウォーミングな居場所を目指す。		
(2)規模、開館日等	【規模】 敷地面積 5250.10㎡ 施設本体の延床面積①400.76㎡ ②605.60㎡ ③865.78㎡ 共用部1,051.46㎡ 鉄筋コンクリート造、一部木造、一部鉄骨造、一部プレストレストコンクリート造 地上2階 地下1階	【休館日】 ①年未年始12月29日～1月3日 ②毎週火曜日、祝日の翌日、年未年始12月29日～1月3日 ③年未年始12月29日～1月4日 【開館時間】 ①午前10時～午後6時 ②午前10時～午後10時 ③午前10時～午後8時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	T R C 北千里共同事業体					
(2)指定期間	令和4年8月1日～令和9年3月31日					
(3)選定方法	公募（プロポーザル方式）					
(4)指定管理者 が行う業務内 容	①児童センター業務（主催事業の実施、施設の使用許可業務等） ②窓口等公民館受付業務、施設の使用許可業務 ③窓口等図書館業務 3施設で連携する世代間の交流促進事業の実施 3施設合同イベントの企画・運営業務 施設及び付属設備の維持管理業務（警備・清掃・設備保守・修繕）					
(5)指定管理者 の収支			令和4年度		令和5年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収 入	指定管理料 又は利用料金（円）	67,969,000	70,247,499	108,834,000	108,834,000
		自主事業収入（円）	1,568,750	729,693	3,765,000	3,120,542
		その他（円）				
	支 出	管理経費（円）	67,969,000	76,096,882	108,834,000	121,307,125
		自主事業（円）	1,568,750	1,473,072	3,765,000	5,336,166
		その他（円）				
	収支差額（円）		0	-6,592,762	0	-14,688,749

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和4年度		令和5年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	施設利用者数（人）		132,352		353,474
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施（用紙もしくはWebアンケートフォーム） ・イベント時アンケート ・利用者懇談会
(2)把握結果	主な意見は下記のとおりです。 ・受付前が混雑するため対応してほしい。 ・公民館の部屋の前に使用グループ名の掲示がないのでわかりにくい。 ・休館日がわかりにくい。
(3)結果を受けての対応状況	・開館直後に混雑することがあり、鍵の授受等はグループから担当者等、少人数でお願いする。 ・案内板を準備し、掲示できるようにする。 ・施設広報紙や公民館だよりに休館日を明示している。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	開館当初のマイナスの意見も着実に改善されている様子が伺える。利用者懇談会も開催し、マイナス意見の吸い上げ、改善に取り組んでいる。
(2)施設の効用の発揮	イベントを企画し、市職員との連絡会議の中で連携して事業が継続して実施できている。自習室、乳幼児室の運用等も積極的に取り組まれている。利用者からも好評がうかがえるので継続して取り組んでもらいたい。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	統括責任者、副統括責任者2名を配置し、有資格者も適切に配置されている。また、他の施設に対応できるようマルチスタッフ化している。開館直後に、図書館等の電話対応が不在になることがある。開館直後の体制か運用の検討が必要である。
(4)施設の管理経費の縮減	実施が必要な点検については、実施されており、点検結果についても保管がされている。電気スイッチには、点灯及び消灯時間を明示し、全員が対応できるようにしている。
(5)その他	昨年度は資料から広報に課題があるという印象を受けたが、専門性を持つ職員を採用したり、LINEを活用するなど改善に向けた取組がなされている。乳幼児室の運用等は、対象者を絞った広報にも取り組まれている。施設全体の子供、青少年の利用者増が望まれる。
(6)総合評価	調査した結果、施設の管理運営について一部に課題があるものの概ね良好であり、結果問題はなし。新しい複合施設として、世代間交流の機会捻出・創出、子供たちの体験の場となるような取り組みができれば、若い世代の地域密着にもつながり、高齢者の生きがいづくりにもつながると思う。方向性としては非常に良いと思うので、今後とも取組、運営をうまく続けていってほしい。今後も市と指定管理者は連携を深め、適切に業務を執行できるように努めていく。